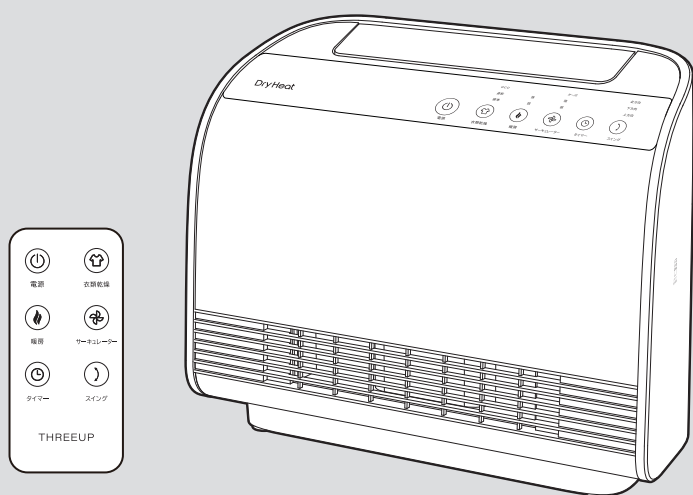


THREEUP

衣類乾燥機能付 W送風セラミックヒーター ドライヒート

CD-T2274

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

- 安全上のご注意……………1～3
- 各部のなまえ……………4～5
- パッケージ内容……………5
- 仕様……………5

ご使用の前に

- 運転モードについて……………6
- 設置について……………6～8
- リモコンについて……………8

ご使用方法

- 運転する……………9
- 停止する……………9
- 衣類乾燥運転する……………10
- 暖房運転する……………11
- サーキュレーター運転する…12
- スイングを使う(風向きを変える)…13
- オフタイマーを使う……………14

点検・修理

- お手入れと保管方法……………15～16
- コンセントの点検……………17
- 故障かな?と思ったら……………18
- 保証・サービス……………裏表紙

はじめに






安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
漏電、感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショートや発火の原因になります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。



禁止

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。
暖房運転のご使用時、過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

風を長時間、直接身体に当て続けしないでください。
暖房運転のご使用時は、長時間、身体の同じ部位を温め続けしないでください。

健康を害する原因になります。
また、温風を当て続けると、やけどや低温やけどの原因になります。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分できない方には周りの方が注意してください。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。
ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れてたり、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

警告



禁止

送風口や温風吹出口、吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。

衣類やカーテンなどでふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

食用油や機械油、その他の溶剤が付着したものを乾燥しないでください。

火災の原因になります。

キッチンなど油煙が舞う場所で使用しないでください。

火災の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちたり、火災の原因になります。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置距離について、P.6～7「設置について」を必ずご確認ください。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る



必ず守る

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

包装用のポリ袋はお子様の手が届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がある。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



接触禁止

暖房運転または衣類乾燥運転の運転中と運転停止直後は、送風口や温風吹出口の周囲に触れないでください。

高温になっているため、やけどのおそれがあります。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。
故障の原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたり、寄りかかったりしないでください。
転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。
移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

- 落下、転倒などにより、ケガや事故、故障の原因になります。
- 安定した水平な場所に置かれていないと転倒時自動オフスイッチが動き、運転が停止します。

薬品などの周囲では使用しないでください。
本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

犬や猫などのペット用には使わないでください。
ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。

お手入れや持ち運び、保管の際は、本体が冷めてから行ってください。
火災ややけどの原因になります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。
• テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。
• 直接温風が当たると故障の原因になります。

壁や家具の近くで使用しないでください。
過熱による変形や変色、火災の原因になります。

電気毛布、あかかなどの他の暖房器具と一緒に使わないでください。
異常過熱による火災の原因になります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。
• 電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
• 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。
本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、漏電や事故、故障の原因になります。

オートルーバーを手で動かさないでください。
故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。
塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。
「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。
正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。

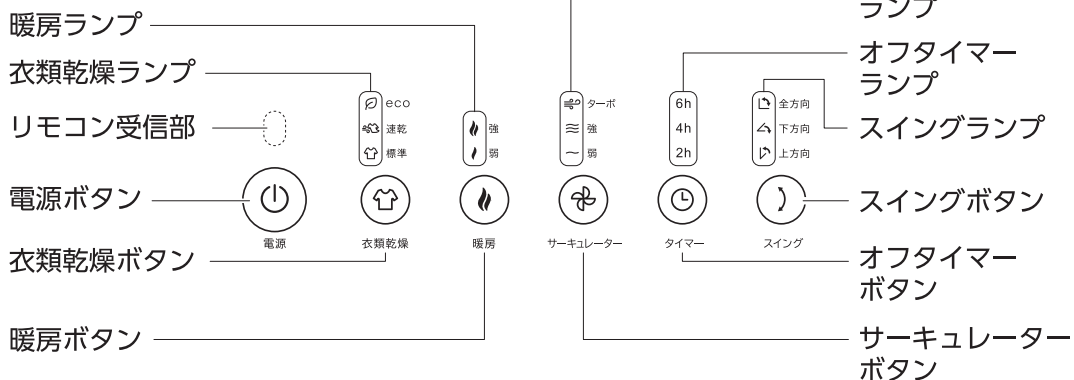
送風口や温風吹出口、吸気口の内部に指を入れないでください。
ケガの原因になります。



各部のなまえ

■ 本体

操作部



正面

オートルーバー

衣類乾燥/サーキュレーター
運転時の送風口

ガード

暖房運転時の
温風吹出口

リモコン収納部
「リモコン貼付位置」の
イラスト部にリモコン
を貼り付けることが
できます。



リモコン
貼付位置

背面

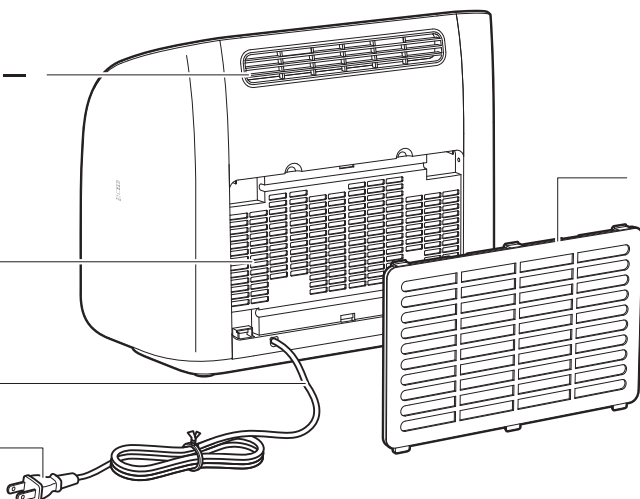
衣類乾燥/
サーキュレーター
運転時の送風口

吸気口

電源コード

電源プラグ

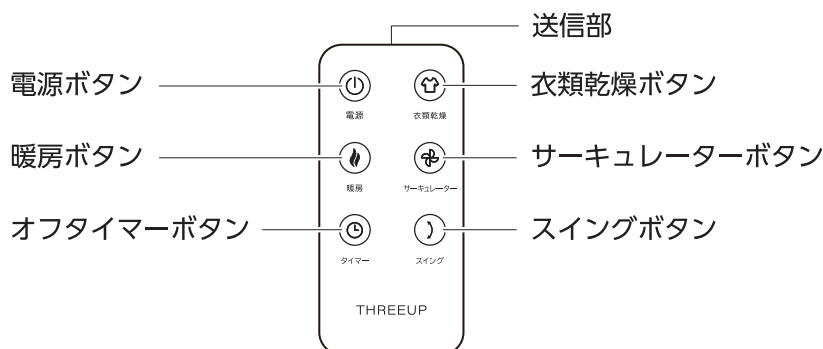
吸気フィルター



はじめに

■ 付属品

- リモコン



パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
リモコン（CR2032電池内蔵）	1	—	—

仕様

本体サイズ	幅47×奥行19×高さ37cm	本体重量	約5.4 kg
材質	ABS、PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	暖房：強/1200W、弱/600W 衣類乾燥：標準780W、速乾/860W、eco/780W サーキュレーター：ターボ/65W、強/40W、弱/30W		
運転モード	暖房2段階（強・弱）、衣類乾燥3段階（標準・速乾・eco）、サーキュレーター 3段階（ターボ・強・弱）		
オートルーバー	自動スイング3段階（上方向、下方向、全方向）、任意固定		
スイング角度	上方向50°～90°、下方向20°～60°、全方向20°～90°		
コード長	約1.8 m	オフタイマー設定	2・4・6時間
自動オフタイマー	8時間		
安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、転倒時自動オフスイッチ		
1時間あたりの電気代	約32.4円(暖房 強/1200W運転時)		

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

ご使用の前に

運転モードについて

暖房運転と衣類乾燥運転またはサーキュレーター運転は同時に使用できません。

暖房運転

温風吹出口から「弱」または「強」の温風が吹き出し、ヒーターとしてご使用いただけます。

衣類乾燥運転

本体上部の送風口から温風が吹き出し、衣類を快適に乾燥できます。

サーキュレーター運転

本体上部の送風口から風が吹き出し、室内の空気を循環させます。

設置について

■ 設置条件

暖房運転

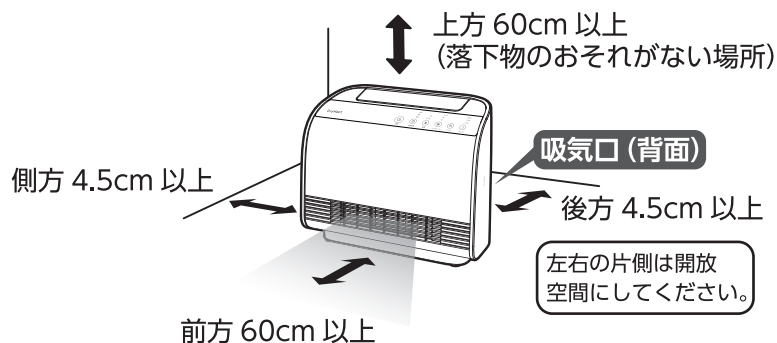
暖房運転時の温風吹出口から温風が吹き出します。

警告



下図の設置距離を必ずお守りください。

- 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
- カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 本体背面の吸気口が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。



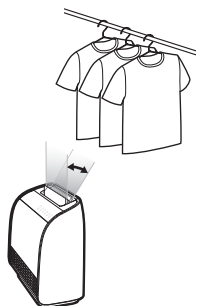
ご使用の前に

衣類乾燥運転

- 衣類乾燥/サーキュレーター運転時の送風口から温風が吹き出します。
- 乾燥させる衣類の高さにあわせてスイングの向きを選び、風が適度に当たるように設置してください。

上に干したものを乾燥する

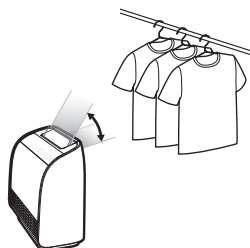
スイング：上方向



送風範囲：上側40°

下に干したものを乾燥する

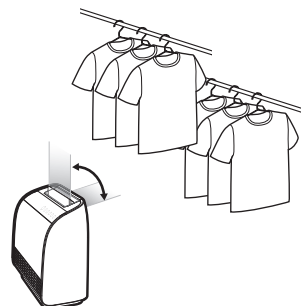
スイング：下方向



送風範囲：下側60°

上下に干したものを乾燥する

スイング：全方向

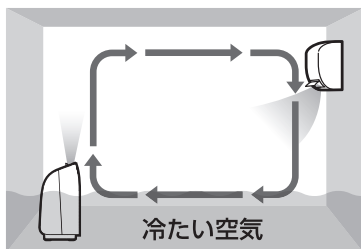


送風範囲：上下90°

サーキュレーター運転

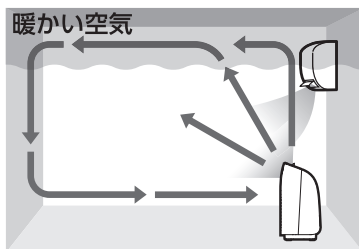
- 衣類乾燥/サーキュレーター運転時の送風口から風が吹き出します。
- 本体は障害物がなく、安定した水平な場所に設置してください。
不安定な場所や棚の上への設置は、転倒や落下によるケガや破損の原因になります。
- 用途にあわせて設置場所やスイングの風向きを変えて、効率よく空気を循環させてください。
- 設置例

冷房使用時



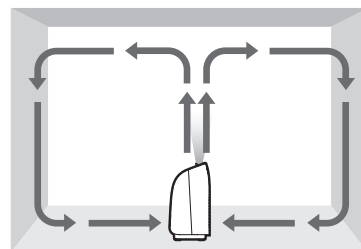
床にたまった冷たい空気を循環させ、部屋全体を快適にします。

暖房使用時



天井にたまった暖かい空気を循環させ、足元まで快適にします。

循環

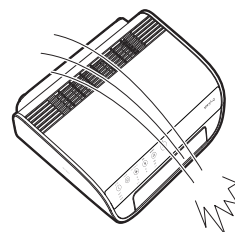


天井に風を送り、部屋全体の空気を循環させます。

■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりしたときに自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用になる場合は、水平な床面にもう一度正しい向きに設置して『電源』ボタンを押してください。
- 本体を動かしたときにカラカラと音がすることがありますが、これは転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。



■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。
少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。
その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

■ 過熱防止機能

衣類乾燥運転時に送風口内部の温度が上昇しすぎると『衣類乾燥』ランプと『暖房』ランプが全て点滅し、送風運転に切り替わります。温度が下がると自動的に運転を再開します。

リモコンについて

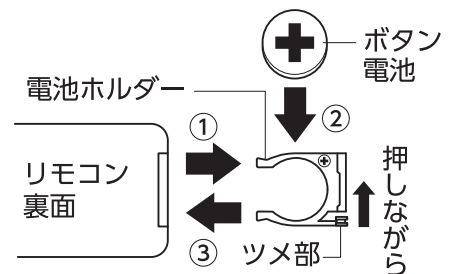
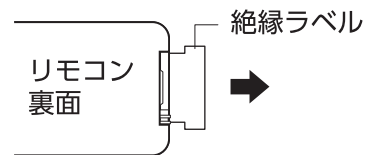
工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。

■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2032/3V」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながらかき抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまで、はめ込みます。



■ 操作範囲

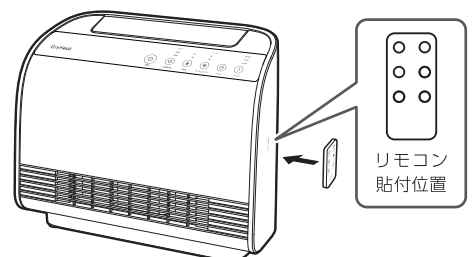
リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。
そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



■ 収納について

リモコンは本体左横のリモコン収納部にマグネットで貼り付けることができます。



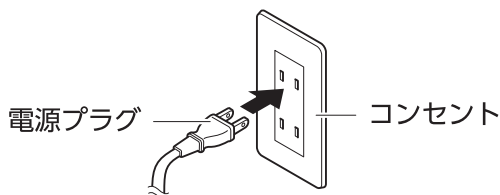
ご使用方法

運転する

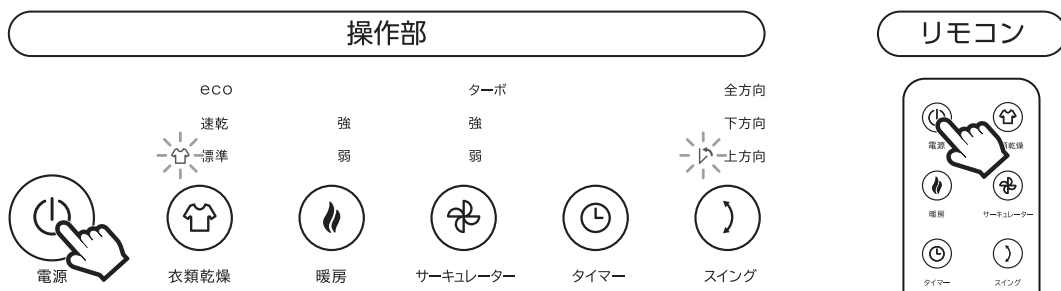
初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分の臭いがすることがありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

■ 運転を開始する

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピッピッ”と電子音が鳴り、待機状態となります。



- ② 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すと運転を開始します。
 - ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。
 - 初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、衣類乾燥/標準とスイング/上方向で運転を開始します。



- ③ お好みの運転に切り替えます。
運転モードの動作内容や切り替えかたは、各運転説明をご確認ください。

停止する

運転中に本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。
“ピーッ”と電子音が鳴って全てのランプが消灯し、運転が停止します。
衣類乾燥運転と暖房運転の停止後は内部冷却のため、約15秒間風量「強」で送風運転を行います。

自動オフタイマー機能 全ての運転モードで電源の消し忘れを防止するため、最後の操作から8時間後に自動停止します。(オフタイマー設定時は除く)

メモリー機能 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定、スイング設定は除く)

⚠ 注意



- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜く場合は、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

衣類乾燥運転する

■ 運転モードの動作内容

右表のようにヒーターと風量の組み合わせが変わります。

運転モード	ヒーター	風量
標準	ON	強
速乾	ON	ターボ
eco	スタート時	強
	1時間以降	ターボ

■ 運転モードの切り替えかたと切り替わり順

運転中に本体またはリモコンの『衣類乾燥』ボタンを押します。

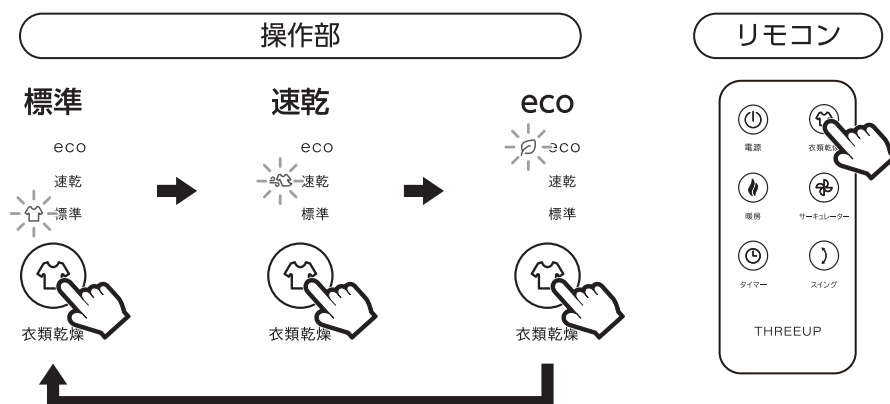
『衣類乾燥』ボタンを押すたびに運転モードが切り替わり、設定にあわせて点灯する『衣類乾燥』ランプも切り替わります。

◎暖房運転から衣類乾燥運転に切り替えた場合

約15秒間送風運転を行ったあと、送風口の切り替えを行い、約10秒後に衣類乾燥運転を開始します。

◎サーキュレーター運転から衣類乾燥運転に切り替えた場合

すぐに衣類乾燥運転を開始します。



暖房運転する

■ 暖房運転への切り替えかた

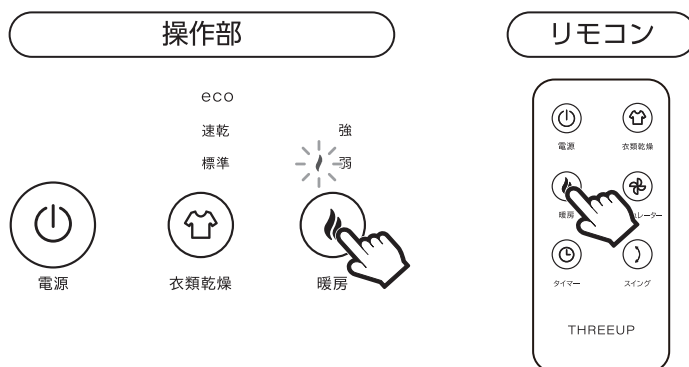
運転中に本体またはリモコンの『暖房』ボタンを押します。

◎衣類乾燥運転から暖房運転に切り替えた場合

約15秒間送風運転を行ったあと、送風口の切り替えを行い、約10秒後に暖房運転を開始します。

◎サーキュレーター運転から暖房運転に切り替えた場合

すぐに送風口の切り替えを行い、約10秒後に暖房運転を開始します。

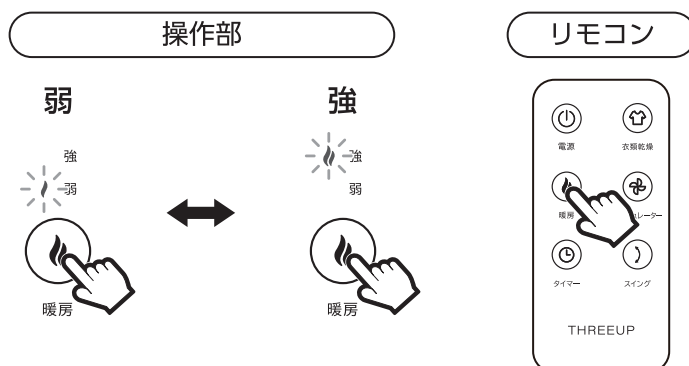


■ 「強」と「弱」を切り替える

『暖房』ボタンを押すたびに「強」と「弱」が切り替わり、設定にあわせて点灯する『暖房』ランプも切り替わります。

メモ

「強」と「弱」の切り替えはヒーターの発熱量を切り替えるもので、風量は変わりません。



サーキュレーター運転する

■ サーキュレーター運転への切り替えかた

運転中に本体またはリモコンの『サーキュレーター』ボタンを押します。

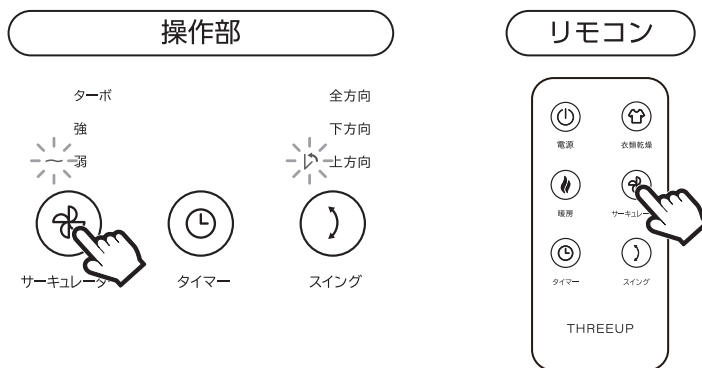
『サーキュレーター』ランプ「弱」と『スイング』ランプ「上方向」が点灯して、サーキュレーター「弱」で運転を開始します。

◎暖房運転からサーキュレーター運転に切り替えた場合

約15秒間送風運転を行ったあと、送風口の切り替えを行い、約10秒後にサーキュレーター運転を開始します。

◎衣類乾燥運転からサーキュレーター運転に切り替えた場合

すぐにサーキュレーター運転を開始します。

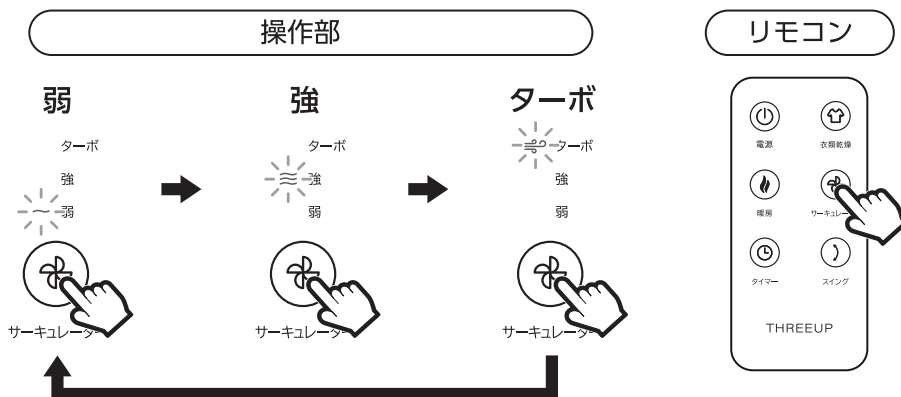


■ 風量の切り替えかたと切り替わり順

『サーキュレーター』ボタンを押すたびに風量が切り替わり、設定にあわせて点灯する『サーキュレーター』ランプも切り替わります。

メモ

「強」/「弱」/「ターボ」の切り替えはモーターの風量を切り替えるものです。ヒーターは使用しません。



ご使用方法

スイングを使う(風向きを変える)

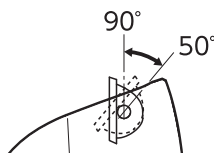
スイングは衣類乾燥運転とサーキュレーター運転時に設定できます。

■ スイングについて

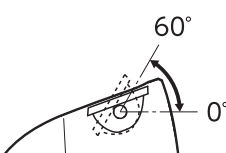
設定にあわせてオートルーバーの可動範囲が切り替わり、風を送りたい場所の高さにあわせて風向きを調節することができます。

● 本体側面図

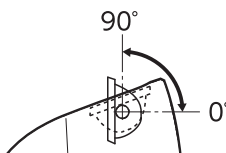
上方向
(送風範囲：約40°)



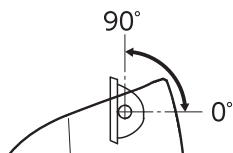
下方向
(送風範囲：約60°)



全方向
(送風範囲：約90°)

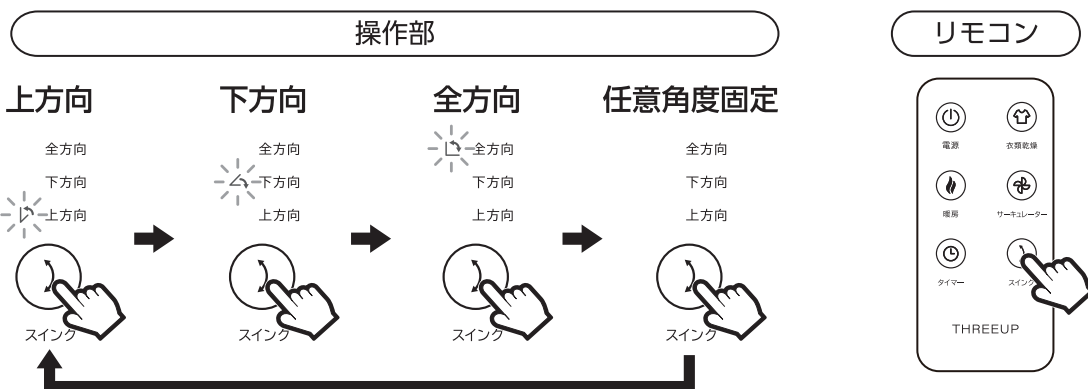


固定
(0～90°の範囲内で任意角度)



■ スイングの切り替えかたと切り替わり順

衣類乾燥運転またはサーキュレーター運転時に、本体またはリモコンの『スイング』ボタンを押します。『スイング』ボタンを押すたびにオートルーバーの可動範囲が切り替わり、設定にあわせて点灯する『スイング』ランプも切り替わります。



■ 風向きの任意角度固定のしかた

『スイング』ボタンを押して「全方向」を選び、お好みの風向きになったときに、もう一度『スイング』ボタンを押します。

オートルーバーが停止し、『スイング』ランプが消灯します。

お願い

スイング中はオートルーバーを手で動かさないでください。可動範囲が変わってしまい、故障するおそれがあります。

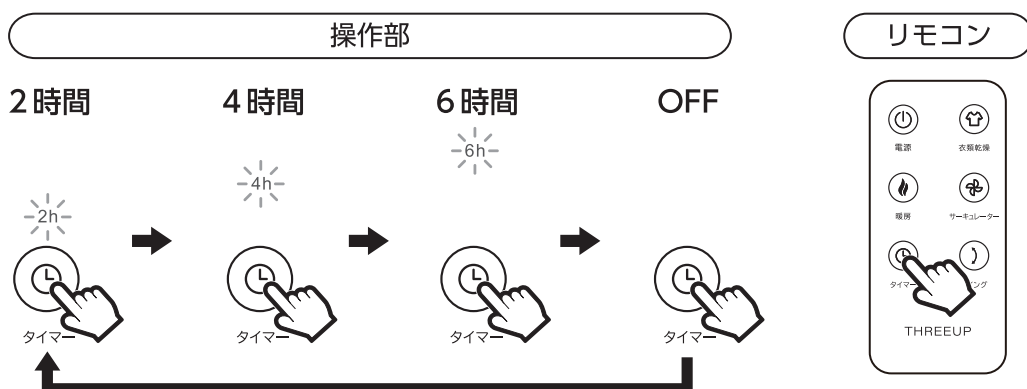
オフタイマーを使う

■ オフタイマーの設定のしかた

- 運転中に本体またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを押します。
『オフタイマー』ボタンを押すたびに設定時間が切り替わり、設定にあわせて点灯する『オフタイマー』ランプも切り替わります。
- 2時間、4時間、6時間で設定が可能です。設定時間経過後、自動停止します。
オフタイマー設定後は、時間が経過するたびに『オフタイマー』ランプの点灯位置が変わり、残時間を表示します。

■ オフタイマーの解除のしかた

『オフタイマー』ランプが消灯するまで、『オフタイマー』ボタンを繰り返し押ししてください。



お手入れと保管方法

警告



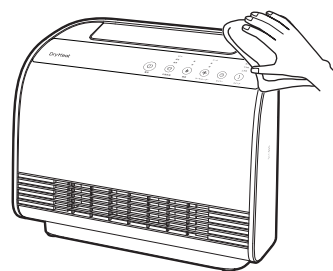
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分に冷えてからお手入れをしてください。
感電やケガ、やけどの原因になります。

各部のお手入れは2週間に1回以上行ってください。

■ 本体のお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、十分に乾かしてください。

お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



■ 送風口や温風吹出口のお手入れ

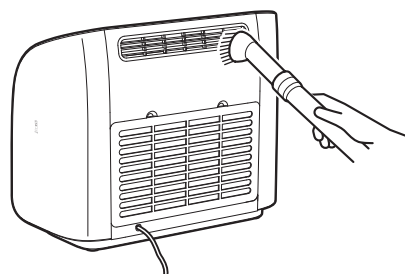
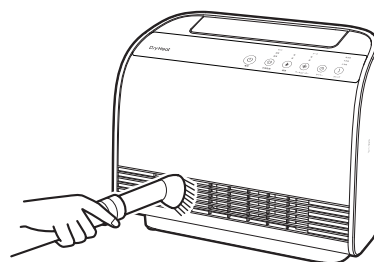
すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

温風吹出口周囲の変色について

ご使用方法、ご使用状況によっては温風吹出口の周囲が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。

また変色や変形の原因になりますので、次のようなご使用方法はお避けください。

- 送風口や温風吹出口、吸気口、吸気フィルターにホコリが詰まった状態での使用。
- 送風口や温風吹出口、吸気口付近に障害物がある状態での使用。
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用。



■ 吸気フィルターと吸気口とのお手入れ

吸気フィルターを取り外してお手入れをしてください。

● 吸気フィルターの取り付け/取り外しかた

- ① 吸気フィルターを本体から取り外します。
本体のへこみから吸気フィルターに指先を掛けて手前に倒してください。
- ② 吸気フィルターと吸気口のお手入れをします。

吸気フィルターのお手入れ

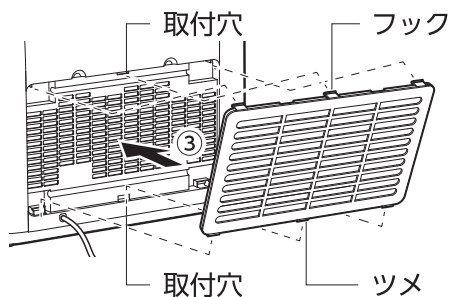
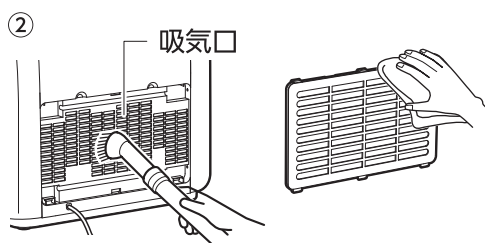
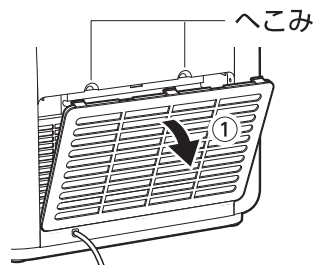
水洗いをしてください。掃除機でのお手入れは吸気フィルターが破れるおそれがありますのでお避けください。お手入れ後は陰干しして十分に乾かしてください。

※ブラシなどで強くこすらないでください。
破損の原因になります。

吸気口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

- ③ 吸気フィルターを本体に取り付けます。
吸気フィルターのツメ (3か所) を先に下側の取付穴に引っ掛けてから、フック (3か所) を上側の取付穴に引っ掛けてください。



■ 保管方法

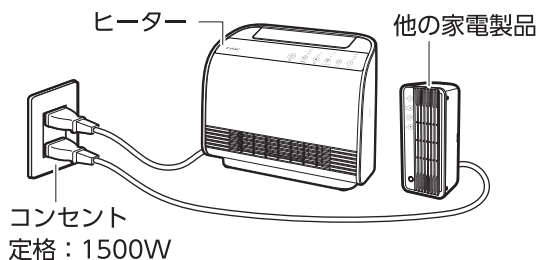
- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極 (+/-) にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

コンセントの点検

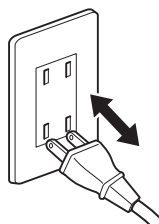
- コンセントなどの配線器具には寿命があります。
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

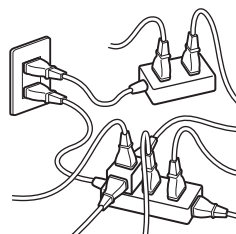
- ✕ 定格容量いっぱいを使用する



- ✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



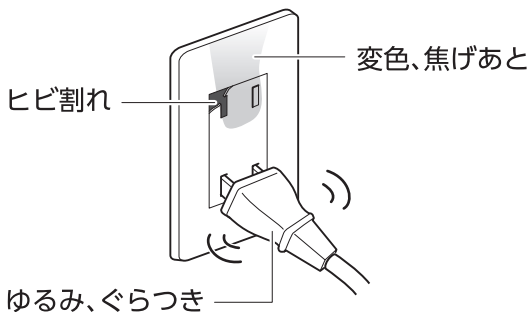
- ✕ タコ足配線する



- 下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- ・電源プラグの抜き差しがゆるい。
- ・電源プラグやコンセントが熱い。
- ・表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- ・表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。
焼損や火災、事故の原因になります。

長年ご使用のヒーターはよく点検を行ってください。

- このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードや電源プラグが破損した。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・焦げ臭いにおいがする。
- ・その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまで点検をご依頼ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが外れている。 『電源』ボタンを押していない。 安定した水平な場所に置かれていない。(転倒時自動オフスイッチが働いている) 内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 『電源』ボタンを押してください。 安定した平らな床面でお使いください。 本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。
運転モードの切替時にすぐに運転を開始しない	<ul style="list-style-type: none"> 送風口の切り替えを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 切り替える運転モードによって、運転を開始するまでの時間が異なります。詳細はP.10～12をご確認ください。
電源を切っても停止しない/設定時間が過ぎてても停止しない	<ul style="list-style-type: none"> 衣類乾燥運転または暖房運転の運転停止直後である。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣類乾燥運転と暖房運転の転停止直後は、ヒーターの冷却のため約15秒間送風運転を行ったあと停止します。故障ではありません。
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 送風口や温風吹出口、吸気口、吸気フィルターが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した水平な場所に設置してください。 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> 初めて運転をしたため。 送風口や温風吹出口、吸気口、吸気フィルターが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めてご使用になる時は、においや、まれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になくなります。 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
オートルーバーの可動範囲が説明書に記載された範囲と異なる	<ul style="list-style-type: none"> オートルーバーを手で動かして可動範囲を変えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを接続し直したあと、『電源』ボタンを押してください。
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ボタン電池が消耗している。 ボタン電池の向き(+/-)が間違っている。 本体の受信部にリモコン送信部を向けていない。または本体の受信部とリモコン送信部の間に障害物がある。 本体とリモコンとの距離が離れている。 本体のリモコン受信部またはリモコンの送信部が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいボタン電池に交換してください。 ボタン電池を正しい向きに入れ直してください。 障害物を取り除き、リモコン送信部を本体の受信部に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。 操作距離は直線で約5mです。操作位置または本体の設置場所を変更してください。 本体の受信部とリモコンの送信部のお手入れをしてください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーで設定した時間の経過、または自動オフタイマーにより停止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押してください。
衣類乾燥運転時の風が暖かくない	<ul style="list-style-type: none"> ecoモードで運転している。 	<ul style="list-style-type: none"> ecoモードの運転時は、1時間経過するとヒーターが停止します。連続して温風を出したいときは、標準モードか速乾モードに切り替えてください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。